

コロナ禍の世界

横浜市駐在員レポート

⑥

ドイツ連邦統計局による 倉庫保管を中心に事業を展開し、同国の輸出額は4月末 開いている。 続で前年同月比31・1% 新型コロナウイルスが及ぼす影響について、鎌田統大は「業界の航空需要が減少した。需要と生産が縮小して急ぐ必要がなくなり、機時の2009年7月（23・6%減）に次ぐ、減少幅が大きかった。対日貿易でも、輸出額は31・2%減、輸入額は22・2%減とほぼ同じ割合で減っている。 経済活動が停滞する中、物流の現場では何が起きて

フランクフルト



デュッセルドルフ近郊にあるドイツ目新の倉庫。倉庫業に新型コロナウイルスが与えた影響は航空事業と比べ限定的だったという。 7月1日

輸出入減 物流に変化

いるのか。目新（横浜市中区）の鎌田統大・欧州統轄に話を聞いた。同社は1985年、ドイツに現地法人を設立。現在は欧州9カ国に拠点をもち、陸海空の輸送、

が、提供できる輸送サービスの多様化と顧客層を広げるアプローチの重要性を再認識する契機となった」と話す。 欧州に進出している横浜市内の企業は約30社あり、そのビジネスを支援する。とは市フランクフルト事務所（横浜市フランクフルト事務所）の主要な機能の一つでもある。コロナ禍で何ができ 務所長・玉井 猛

随時掲載